

表現力

鉛筆デッサン

●対象学科

写真／デザイン／インタラクティブメディア／アニメーション／ゲーム／マンガ

●対象入試区分

表現力入試／留学生入試

●試験の内容

与えられた条件にしたがって、鉛筆デッサンを行う。

解答用紙：B3判イラストレーションボード(2mm厚 M画用紙)

試験時間：180分

持参用具：鉛筆(硬軟自由)・消し具・鉛筆削り(カッターナイフ・紙やすり・芯削りを含む)・羽ぼうきまたは刷毛(ハケ)・はかり棒・

ほかし具(ティッシュ・ガーゼ・擦筆等)

・下書き用紙は本学で用意します。・上記の用具以外は使用不可とします。

●出題意図

クリエイターに求められる能力としては、絵の構図の善し悪しに対する判断力や、対象を着実にとらえることのできる観察力があります。そうした基礎的な画力や構成力を持つ人であることに加えて、クリエイターに必要な発想力の豊かさも併せ持つ人を求めて出題しています。

●評価のポイント

- ・問題の目的や状況を正確に表現していること。
- ・発想力や感性に優れていること。
- ・構図、形、動き、光、量感などが的確に描写されていること。

●アドバイス

入門書や美術の先生から鉛筆デッサンの基礎を学び、とにかく描く機会をより多く持つことです。講習会の利用や美術の先生の指導を求めましょう。石膏像など本格的なモチーフがなくても自分の手足や暮らしの中の物に目をむけ観察し絶えず描くことが大切です。画集や展覧会などで優れたデッサン(素描)や描画(ドローイング)により多く接するようにしましょう。

問題内容

配布された二種類の材料を利用して、画面を構成し、鉛筆デッサンしなさい。

[条件]

- 1) イラストレーションボードは縦位置、横位置、どちらで使用してもよい
- 2) 配布されたモチーフ以外は描画しないこと
- 3) 配布されたモチーフは必ず画面内に描くこと。個数、大きさは自由
- 4) デッサンにはタイトルをつけること

▶例題①



モチーフ：カラーシート、電球

▶例題②



モチーフ：ビン、ロープ

参考作品 例題①

《作品A》



タイトル「シンプルズ」
シンプルな構成で画面を見せていくことは難しいが、モチーフの配置や描写が優れており、テーマに合った構成を描き出すことに成功している。

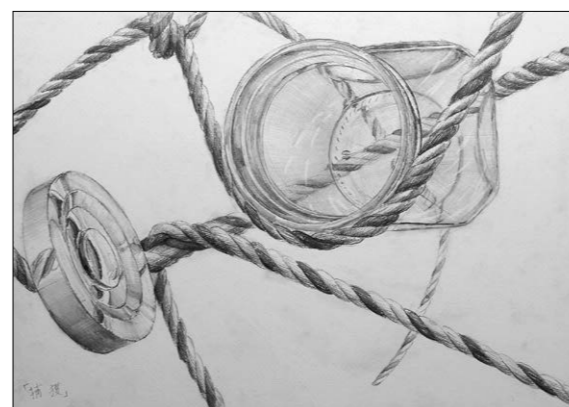
《作品B》



タイトル「ニュートンのひらめき」
構図はさらに工夫する必要があるが、二つのモチーフの対比を見せることで制作意図が明確になり、力強い画面を描き出すことに成功している。

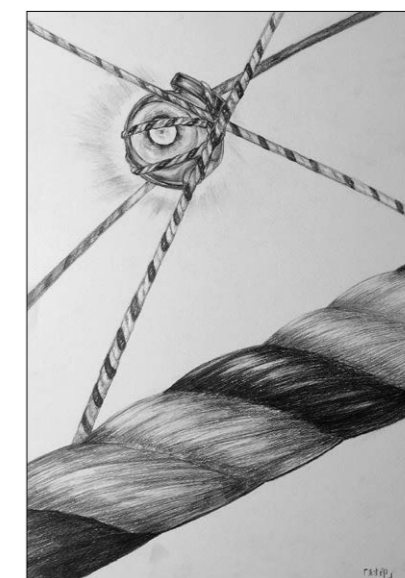
参考作品 例題②

《作品A》



タイトル「捕獲」
それぞれのモチーフの特性を生かした上で構成し、モチーフによって異なる質感を描き出すことで、想定した広い空間を作り出すことに成功している。

《作品B》



タイトル「封印」
直線的にモチーフを配置し、形や質感表現を極端な対比で見せることで視線を画面内に誘導し、動きのある構成を描き出すことに成功している。